

第27回 『コシヒカリ脱穀』

と き 2012年9月30日(日) 9:30 - 15:45

ところ 谷っ戸ん田

天 気 晴れ

参加者 石田、磯(13:30)、霧生(13:30)、久保、佐々木(チャリママ)、高田(裕)(13:30)、高橋、松下(11:30)
計8名

【午前】

- ・ 田んぼの畦の草刈(刈払い機2台使用)
- ・ モチのかけぼし(ポニー)のロープ止め
台風17号が今夜半にも通過するため、昨日刈ったモチのかけぼし(ポニー)をロープで結わえることにした。80cm程の杭を10本用意、各列5本ずつ田んぼに打ちこんでトラロープで縛った。その甲斐あって、台風一過の翌朝、ポニーが倒れていないことを石田さんが確認した。
- ・ コシヒカリの脱穀。ハーベスター(キャタピラー自走式)1台使用。
今年は天気を見据えてのハラハラ脱穀だ。前日、稲束を陰陽ひっくり返して1日待つことにした。天気は1日晴れの予報。なので、できるだけ遅く午後集合の作業を予定したが、予報は午後から雨に変わり、集合を通常に戻して午前中に脱穀することにした。天気予報に翻弄されどうしだ。
- ・ 晴れた、しかし、17号が紀伊半島あたりに接近、空気が湿っぽい、嵐の予感がする。昼までに終わるだろうと11時に開始するもそううまく運ばず、半分終了したところで、10分間休憩を摂って全部終わったのは13時20分だったから、2時間少々掛ったことに。
- ・ ハーベスターで籾のこき残しが多く出る場合、稲束を入れていく速度が速すぎることが原因の一つ、手元だけでなく機械の中の動きも見なければならず、機械を使うのは難しい、インガバマワレということです。
- ・ ワラ束は、5束ずつ対にして10束をPP紐で結わえて、3台のパレットに積みブルーシートをかかけた。

【お昼】13時30分より昼食。あまりの渴きに、ノンアルビアーが喉に浸みる。ノンアルってこんなに美味しかったっけ? 悦に浸る間もなく空は刻々怪しさを増し、作業にかかる。

【午後】

- ・ 14時から和久さんたんぼの脱穀 テツさんのやっというの一言でハーベスターを移動する。4袋の籾とワラ束は隣のハウスに收容した。
- ・ 途中、ハーベスターの給油のためガソリン調達の合間に、15袋の籾を高橋絆号に積んで上のハウスに運ぶ。収穫量であるが、目分量で籾1袋20kg強とすると300数十キロと予測、玄米にすると25%位減るだろうから、240kg位か、まあ、摺ってみればわかるけど楽しみだ。
- ・ 15時半、和久さんたんぼの脱穀が終わると同時に雨が降り出した。今日は空模様を追われながら、ほぼ休みなしで働いたためくたびれたが、17号の襲来には間に合い、やり終えた感もあり、よかった。チャリママが濡れずに帰宅できたか少し気にしながら帰路につきました。

園主より大量のナス、土嚢袋で4つ分いただきました。皆で分けました。大振り食べ応えあり、煮たり炒めたり、近所に分けたり、美味しくいただきました。

次回の作業予定(10月6日): さつまいもためし掘り、雑木林下草刈り

(記録: Hi-lucky takahashi)